



## 日本大学文理学部国文学科 日本語学基礎演習2

### はじめに

各ジャンルにおける  
年代別キャライメージの比較

方言イメージと  
週刊少年ジャンプにおける  
方言キャライメージの  
関係について

外国人と地元の  
方言キャラクター

少女漫画における  
方言による作品世界と  
方言の基本イメージの関係

少年マンガにおける  
方言を利用した  
キャラの差別化

あとがき

 

## 5.2.島根弁における方言イメージとキャラクターの性格の関係

(松浦花)

### ▶ 1.島根県における分析

全国県民意識調査(1997)と、本漫画のキャラクターたちのセリフを比較したところ、当てはまっているものは共通して「県民意識が強い」「近隣とのかかわりを大切にする」ということであった。島根弁話者から受けるイメージとしては「訛りが強く、地元愛が強い」というものがよくあげられている。

しかし、実際の島根弁とは「何を言っているのかわからない」というのが多くあげられるがこの漫画では語尾につくなどのような比較的わかりやすい方言のあらわれ方しかしていない。少女漫画であるということもあり、わかりやすい形で島根弁のイメージを表しているのだと感じた。

### ▶ 2.調査による結果と考察

(結果1)すべてのキャラクターに共通していたのは、2の地元の行事や祭りには積極的に参加するという項目と3のこの土地の言葉好きという項目であった。

(考察1)島根県民の地元愛が強いというイメージによくあてはまっている。特にすべてのキャラクターたちが一貫して常に方言を使用していることからイメージ通りなのだとということが感じられた

(結果2)逆に5のなんでも相談したり助け合える付き合いという項目はあてはまっているキャラクターは二人しかおらず、6の生活の心配がなくても働くという項目は当て嵌まっているキャラクターは一人もいなかった。

(考察2)対象とした巻やキャラクターに年頃の子供や気難しい性格のものがいるということも相まってかもしれないが、県民調査でのパーセンテージが低いものにはあまりあてはまって居ないことが分かった。

(結果3)島根弁から受けるイメージとして挙げたものにはよくあてはまっていた

(考察3)方言話者の特徴などが伝わりやすいよう一貫して作品中に方言が多く出てきているのではないかと感じた。

### ▶ 3.まとめ

島根弁はあまり身近ではないということもあり、データが少なくあまり具体的なイメージがわからないと感じた。なんとなくこのような感じだろうと思っていたものと漫画で判断したため、漫画からうける印象がより強く残った。

今後島根に行く機会があった際には方言に着目し実際に聞いてどんな印象を受けるのか調べてみたいと感じた。

### 📖 5.1.大阪弁における方言イメージとキャラクターの性格の関係(細山雅代)

### 📖 5.3.長崎方言における方言イメージとキャラクターの性格の関係(唐木田之愛)